
「少額投資非課税制度（通称 NISA）に関する調査（2020 年実施）」
集計結果

上山仁恵



名古屋学院大学総合研究所

University Research Institute
Nagoya Gakuin University
Nagoya, Aichi, Japan

「少額投資非課税制度（通称 NISA）に関する調査（2020 年実施）」*

集計結果

名古屋学院大学経済学部

上山仁恵

目次

1. 調査の概要	2
2. 回答者の基本属性	3
3. 本調査の結果（単純集計）	5
参考資料 A スクリーニング調査票	24
参考資料 B 本調査票	26

* 本調査は、文部科学省科学研究費補助金基盤 C(課題番号 19K01685)の助成を受けて実施したものである。なお、調査票の作成にあたり、家森信善教授（神戸大学経済経営研究所）が実施している金融リテラシーに関する調査を参照している。ここに感謝の意を表する。

1. 調査の概要

本報告書は、文部科学省科学研究費補助金基盤C(課題番号 19K01685)の助成を受けて実施した「少額投資非課税制度（通称 NISA）に関する調査」の集計結果を提示したものである。

この調査は、NISA の利用状況について様々な方面から調査を実施しているが、特に、1) NISA がきっかけで投資を始めた人と始めていない（口座を開設していない）人の属性比較分析、および、2) NISA 開設後に投資を始めた人と始めていない人（口座を開設したにも関わらず投資を始めていない人）の属性比較分析、の 2 点を主な目的として実施したものである。

調査の対象は、20 歳以上（79 歳以下）であり、職業として金融関連の職に就いていない、あるいは金融の専門家等は除外している。

そして、スクリーニング調査として、NISA の認知度や NISA 口座の開設状況、および、その運用状況などを調査している（参考資料 A のスクリーニング調査票を参照）。スクリーニング調査の結果、以下 4 つのサンプル割付を行い、本調査の実施後（参考資料 B の本調査票を参照）、計 3,500 サンプルの回収を行った。

サンプル 3,500 の割付

- ① NISA がきっかけで初めて投資を始めた人（1,000 人）
- ② NISA がきっかけで口座を開設したが投資を始めていない人（500 人）
- ③ NISA 以前から投資を始めている人（1,000 人）
- ④ NISA を知っているが投資を始めていない人（1,000 人）

ちなみに、② NISA がきっかけで口座を開設したが投資を始めていない人のサンプル数が少ない理由は、該当者が少なく 1,000 サンプル回収できなかったためである（事前の出現率調査により該当者が少ないことが判明していたため、サンプル数は 500 とした）。

なお、この調査は、株式会社サベイリサーチセンターに委託して実施している。2020 年 3 月～4 月に出現率調査やスクリーニング調査を行い、本調査を 2020 年 5 月 2 日（金）～8 日（金）で実施した。調査の方法はインターネット調査である。

2. 回答者の基本属性

回答者の性別

表 1 回答者の性別

全体	3500 (100%)
1. 男性	2556 (73.0)
2. 女性	944 (27.0)

回答者の年齢

表 2 回答者の年齢分布

全体	3500 (100%)
1. 20 代	97 (2.8%)
2. 30 代	566 (16.2%)
3. 40 代	996 (28.5%)
4. 50 代	980 (28.0%)
4. 60 代	675 (19.3%)
4. 70 代	186 (5.3%)

表 3 回答者の年齢（記述統計量）

サンプル数	平均年齢	最小値	最大値
3500	50.6 歳	22 歳	79 歳

回答者の居住地

表 4 回答者の居住地¹

全体	3500 (100%)
1. 北海道地方	141 (4.0%)
2. 東北地方	181 (5.2%)
3. 南関東地方	1228 (35.1%)
4. 北関東・甲信地方	200 (5.7%)
5. 北陸地方	107 (3.1%)
6. 東海地方	422 (12.1%)
7. 近畿地方	694 (19.8%)
8. 中国地方	183 (5.2%)
9. 四国地方	96 (2.7%)
10. 九州・沖縄地方	248 (7.1%)

¹東北(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)、南関東(埼玉・千葉・東京・神奈川)、北関東・甲信(茨城・栃木・群馬・山梨・長野)、北陸(新潟・富山・石川・福井)、東海(岐阜・静岡・愛知・三重)、近畿(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)、中国(鳥取・島根・岡山・広島・山口)、四国(徳島・香川・愛媛・高知)、九州・沖縄(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)。

3. 本調査の結果（単純集計）

Q1. あなたの現在のご職業について教えてください。（1つだけ）

表 5 回答者の職業

全体	3500 (100%)
1. 農林漁業者	17 (0.5%)
2. 自営業者（中小企業の経営者を含む）	216 (6.2%)
3. 公務員	310 (8.9%)
4. 大企業の正規従業員（役員を含む）	692 (19.8%)
5. 中小企業の正規従業員（役員を含む）	1007 (28.8%)
6. 派遣社員・契約社員、パートタイム・アルバイト	506 (14.5%)
7. 専業主婦・主夫	287 (8.2%)
8. 無職（リタイアしている）	387 (11.1%)
9. その他	77 (2.2%)

Q2. あなたが最後に卒業された学校について教えてください。（1つだけ）

表 6 回答者の学歴

全体	3500 (100%)
1. 中学校 卒業	36 (1.0%)
2. 高等学校 卒業	687 (19.6%)
3. 専門学校、短期大学（高専等を含む）卒業	595 (17.0%)
4. 大学 卒業	1861 (53.2%)
5. 大学院修士課程 修了	249 (7.1%)
6. 大学院博士課程 修了	68 (1.9%)
7. その他	4 (0.1%)

Q3. あなたの現在のご家族について教えてください。(各問1つだけ)

表 7 回答者の家族構成（配偶者）

全体	3500 (100%)
1. 配偶者 いる	2496 (71.3%)
2. 配偶者 いない	1004 (28.7%)

表 8 回答者の家族構成（子供）

全体	3500 (100%)
1. 子供 いない	1324 (37.8%)
2. 子供 いる（1人）	675 (19.3%)
3. 子供 いる（2人）	1101 (31.5%)
4. 子供 いる（3人以上）	400 (11.4%)

Q4. あなたの昨年の年収について教えてください。(1つだけ)

表 9 回答者の年収

全体	3500 (100%)
1. 100 万円未満	333 (9.5%)
2. 100 万円以上～300 万円未満	589 (16.8%)
3. 300 万円以上～500 万円未満	787 (22.5%)
4. 500 万円以上～700 万円未満	655 (18.7%)
5. 700 万円以上～1000 万円未満	563 (16.1%)
6. 1,000 万円以上～1,500 万円未満	219 (6.3%)
7. 1,500 万円以上～2,000 万円未満	35 (1.0%)
8. 2,000 万円以上	31 (0.9%)
9. わからない	288 (8.2%)

Q5. あなたの配偶者の昨年の年収について教えてください。(1つだけ)

表 10 配偶者の年収

全体	2496 (100%)
1. ゼロ(働いていない)	532 (21.3%)
2. 100 万円未満	479 (19.2%)
3. 100 万円以上～300 万円未満	426 (17.1%)
4. 300 万円以上～500 万円未満	319 (12.8%)
5. 500 万円以上～700 万円未満	229 (9.2%)
6. 700 万円以上～1,000 万円未満	164 (6.6%)
7. 1,000 万円以上～1,500 万円未満	67 (2.7%)
8. 1,500 万円以上～2,000 万円未満	10 (0.4%)
9. 2,000 万円以上	16 (0.6%)
10. わからない	254 (10.2%)

Q6. 現在、あなたの世帯でお持ちの金融商品について教えてください。(あてはまるものすべて)

表 11 金融商品の保有状況

全体	3500 (選択率)
1. 円建ての預貯金	2457 (70.2%)
2. 社内預金・財形貯蓄	624 (17.8%)
3. 株式	1813 (51.8%)
4. 投資信託	1493 (42.7%)
5. 国債	309 (8.8%)
6. 社債	150 (4.3%)
7. 外貨建ての預金	562 (16.1%)
8. 掛け捨ての保険	947 (27.1%)
9. 貯蓄性の保険	1218 (34.8%)

10. その他の金融商品	440 (12.6%)
11. 上記、いずれも持っていない	105 (3.0%)
12. わからない	111 (3.2%)

Q7. あなたの世帯の金融資産残高について教えてください。(1つだけ)

(社内預金・財形貯蓄や貯蓄性の保険は含みますが、掛け捨ての生命保険や損害保険は除きます)

表 12 世帯の金融資産残高

全体	3500 (100%)
1. ゼロ	42 (1.2%)
2. 100 万円未満	250 (7.1%)
3. 100 万円以上～300 万円未満	385 (11.0%)
4. 300 万円以上～500 万円未満	339 (9.7%)
5. 500 万円以上～1,000 万円未満	508 (14.5%)
6. 1,000 万円以上～2,000 万円未満	493 (14.1%)
7. 2,000 万円以上～3,000 万円未満	274 (7.8%)
8. 3,000 万円以上～5,000 万円未満	225 (6.4%)
9. 5,000 万円以上	225 (6.4%)
10. わからない	759 (21.7%)

Q9. 現在お持ちの株式・投資信託の大体の時価総額について教えてください。(それぞれ1つだけ)

表 13 株式・投資信託の時価総額

金融商品の種類	株式	投資信託
全体	1813 (100%)	1493 (100%)
1. 50 万円未満	356 (19.6%)	375 (25.1%)
2. 50 万円以上～100 万円未満	220 (12.1%)	261 (17.5%)
3. 100 万円以上～300 万円未満	456 (25.2%)	333 (22.3%)
4. 300 万円以上～500 万円未満	223 (12.3%)	144 (9.6%)
5. 500 万円以上～1,000 万円未満	184 (10.1%)	133 (8.9%)
6. 1,000 万円以上～2,000 万円未満	107 (5.9%)	64 (4.3%)
7. 2,000 万円以上～3,000 万円未満	32 (1.8%)	23 (1.5%)
8. 3,000 万円以上～5,000 万円未満	26 (1.4%)	14 (0.9%)
9. 5,000 万円以上	15 (0.8%)	11 (0.7%)
10. わからない	194 (10.7%)	135 (9.0%)

Q9. 金融資産に占める株式・投資信託の時価総額の割合について教えてください。(それぞれ1つだけ)

表 14 金融資産に占める株式・投資信託の割合

金融商品の種類	株式	投資信託
全体	1813 (100%)	1493 (100%)
1. 1 割程度	512 (28.2%)	506 (33.9%)
2. 2 割程度	276 (15.2%)	222 (14.9%)
3. 3 割程度	227 (12.5%)	177 (11.9%)
4. 4 割程度	105 (5.8%)	71 (4.8%)
5. 5 割程度	129 (7.1%)	98 (6.6%)
6. 6 割程度	44 (2.4%)	36 (2.4%)
7. 7 割程度	61 (3.4%)	37 (2.5%)
8. 8 割程度	47 (2.6%)	33 (2.2%)

9. 9 割程度	57 (3.1%)	36 (2.4%)
10. 金融資産のすべて	21 (1.2%)	20 (1.3%)
11. わからない	334 (18.4%)	257 (17.2%)

Q10. 現在、確定拠出年金を利用していますか。(1つだけ)

表 15 確定拠出年金の利用状況

全体	3500 (100%)
1. イデコ(iDeCo:個人型)を利用している	559 (16.0%)
2. 企業型拠出年金を利用している	734 (21.0%)
3. 企業型拠出年金を利用していない	1671 (47.7%)
4. 確定拠出年金を知らない／わからない	536 (15.3%)

Q11. 現在、あなたの世帯で借入れ(返済中の負債)があれば教えてください。(あてはまるものすべて)

表 16 返済中の負債

全体	3500 (選択率)
1. 住宅に関わるローン	1068 (30.5%)
2. マイカーローン	290 (8.3%)
3. 奨学金や教育に関わるローン	168 (4.8%)
4. フリーローン(使用目的を制限しないローン)	135 (3.9%)
5. 事業に関わるローン	40 (1.1%)
6. その他の借り入れ	3 (0.1%)
7. 借り入れ(返済中の負債)は無い	2026 (57.9%)
8. わからない	133 (3.8%)

Q12. 現在、あなたが居住しているお住まいについて教えてください。(1つだけ)
(単身赴任の方は、ご家族のお住まいについてお答えください)

表 17 回答者の居住形態

全体	3500 (100%)
1. 持家(一戸建)	1946 (55.6%)
2. 持家(マンション・共同住宅)	659 (18.8%)
3. 持家(店舗付き住宅)	8 (0.2%)
4. 賃貸住宅(将来、住宅を購入する予定)	305 (8.7%)
5. 賃貸住宅(住宅を購入する予定は無い)	451 (12.9%)
6. 社宅・寮・官公舎・間借り等(将来、住宅を購入する予定)	49 (1.4%)
7. 社宅・寮・官公舎・間借り等(住宅を購入する予定は無い)	47 (1.3%)
8. その他	35 (1.0%)

Q13. 現在居住されているお住まいの取得について教えてください。(1つだけ)

表 18 住宅の取得状況(持家回答者のみ)

全体	2613 (100%)
1. 新築住宅を購入	1877 (71.8%)
2. 中古住宅を購入	354 (13.5%)
3. 相続・贈与で取得し、建て替えた	80 (3.1%)
4. 相続・贈与で取得した住宅にそのまま居住している	199 (7.6%)
5. その他	103 (3.9%)

Q14. 持家を購入(相続・贈与)されてから、何年お住まいですか。(1つだけ)

表 19 居住期間 (持家回答者のみ)

全体	2613 (100%)
1. 1 年未満	71 (2.7%)
2. 1 年以上～3 年未満	149 (5.7%)
3. 3 年以上～5 年未満	164 (6.3%)
4. 5 年以上～10 年未満	410 (15.7%)
5. 10 年以上～20 年未満	729 (27.9%)
6. 20 年以上～30 年未満	603 (23.1%)
7. 30 年以上	402 (15.4%)
8. わからない	85 (3.3%)

Q15. 大体いくらでお住まいを購入されましたか。(1つだけ)

(相続・贈与された方は、その時の大体の時価についてお教えてください)

表 20 住宅の購入額 (持家回答者のみ)

居住形態	戸建		マンション
	土地	建物	
全体	1946 (100%)	1946 (100%)	659 (100%)
1. 500 万円未満	176 (9.0%)	88 (4.5%)	5 (0.8%)
2. 500 万円未満～1,000 万円未満	233 (12.0%)	121 (6.2%)	14 (2.1%)
3. 1,000 万円以上～2,000 万円未満	434 (22.3%)	503 (25.8%)	74 (11.2%)
4. 2,000 万円以上～3,000 万円未満	248 (12.7%)	472 (24.3%)	161 (24.4%)
5. 3,000 万円以上～4,000 万円未満	105 (5.4%)	178 (9.1%)	163 (24.7%)
6. 4,000 万円以上～5,000 万円未満	69 (3.5%)	60 (3.1%)	108 (16.4%)
7. 5,000 万円以上～1 億円未満	48 (2.5%)	23 (1.2%)	74 (11.2%)
8. 1 億円以上～3 億円未満	8 (0.4%)	4 (0.2%)	6 (0.9%)
9. 3 億円以上	3 (0.2%)	2 (0.1%)	0 (0%)
10. わからない／忘れた	622 (32.0%)	495 (25.4%)	54 (8.2%)

Q16. 現在、居住されているお住まいの価値は、購入(または相続・贈与)された時と比べてどのように変化しているとお考えですか。(1つだけ)

表 21 住宅の価値について(持家回答者のみ)

居住形態	戸建		マンション
	土地	建物	
全体	1946 (100%)	1946 (100%)	659 (100%)
1. 価値はほとんどないと思う	173 (8.9%)	461 (23.7%)	31 (4.7%)
2. 価値は4分の1程度になっていると思う	108 (5.5%)	335 (17.2%)	53 (8.0%)
3. 価値は半分程度になっていると思う	244 (12.5%)	330 (17.0%)	116 (17.6%)
4. 価値は4分の3程度になっていると思う	178 (9.1%)	172 (8.8%)	141 (21.4%)
5. 価値はほぼ変わっていないと思う	562 (28.9%)	146 (7.5%)	166 (25.2%)
6. 価値は購入(相続・贈与)時を超えていると思う	147 (7.6%)	20 (1.0%)	56 (8.5%)
7. わからない	534 (27.4%)	482 (24.8%)	96 (14.6%)

Q17. あなたの資産について、将来どのようにお考えですか。(1つだけ)
(配偶者が居られる方は、あなたと配偶者の資産でお考えください)

表 22 回答者の遺産動機

全体	3500 (100%)
1. 子どもに残すつもりである	1323 (37.8%)
2. 現在子どもはいないが、将来できるだろう子どもに残すつもり	141 (4.0%)
3. 子ども以外の人(親族や第三者)に譲る(寄付)つもりである	83 (2.4%)
4. 子どもを含め、誰かに残すつもりはないが、余れば残す	401 (11.5%)
5. 自分(または配偶者)で使い、残すつもりはない	692 (19.8%)
6. わからない	860 (24.6%)

Q18. リバースモーゲージについてご存知ですか。(1つだけ)

表 23 リバースモーゲージの認知度

全体	3500 (100%)
1. 意味を理解し、知っている	798 (22.8%)
2. 意味はわからないが、聞いたことはある	814 (23.3%)
3. 聞いたことがない／初めて聞いた	1888 (53.9%)

Q19. (サンプル①)リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家を担保として**、老後の生活資金を**借入**する金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべて)

Q19. (サンプル②)リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべて)

Q19. (サンプル③)リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。**ちなみに、諸外国では公的年金の不足分を補う形でリバースモーゲージが普及しています。**
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべて)

Q19. (サンプル④)リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。**ちなみに、米国の研究では、リバース・モーゲージを組み込むことで、資産運用の収益が安定することが示されています。**
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべて)

表 24 リバース・モーゲージ利用に対する考え

全体	3500 (選択率)
1. 現在、既に利用している	18 (0.5%)
2. 必要があれば利用してみたい／興味はあり詳細を知りたい	399 (11.4%)
3. 老後の収入源の1つとして考えられそう	432 (12.3%)
4. 持家が担保とならないので利用できないだろう	134 (3.8%)
5. 老後に借入れはしたくない	909 (26.0%)
6. 年金や貯蓄で十分なので必要ない／年金や貯蓄で何とかする	498 (14.2%)
7. 住宅は子供に残す予定なので利用するつもりはない	451 (12.9%)
8. 生涯、賃貸の予定(家は所有しない)	229 (6.5%)
9. 商品の内容がよくわからない／仕組みが理解できない	1126 (32.2%)

Q20. NISA(ニーサ)の口座を開設したのはいつですか。(1つだけ)

表 25 NISA 口座の開設の時期 (NISA 口座保有者のみ)

全体	2198 (100%)
1. 2014 年	416 (18.9%)
2. 2015 年	205 (9.3%)
3. 2016 年	179 (8.1%)
4. 2017 年	208 (9.5%)
5. 2018 年	329 (15.0%)
6. 2019 年	285 (13.0%)
7. 2020 年	66 (3.0%)
8. わからない／忘れた	510 (23.2%)

Q21. 現在保有の NISA(ニーサ)の口座をどこで開設されましたか。(1つだけ)

表 26 NISA 口座の開設の場所 (NISA 口座保有者のみ)

全体	2198 (100%)
1. 都市銀行、信託銀行	290 (13.2%)
2. 地方銀行、第二地方銀行	169 (7.7%)
3. ゆうちょ銀行	58 (2.6%)
4. ネット銀行	356 (16.2%)
5. その他の銀行	25 (1.1%)
6. 信用金庫、信用組合、投資会社、農協、労働金庫	38 (1.7%)
7. 大手の証券会社	402 (18.3%)
8. ネット証券	802 (36.5%)
9. その他の証券会社	58 (2.6%)

Q22. NISA(ニーサ)を利用し、どのようにお感じですか。(あてはまるものすべて)

表 27 NISA 利用の感想 (NISA 利用者のみ)

全体	1626 (選択率)
1. 売却益や配当が非課税になってうれしい	1019 (62.7%)
2. 損が出て口座の開設を後悔している	139 (8.5%)
3. 期間を限定せず恒久化して欲しい／期間が限定的で使いづらい	397 (24.4%)
4. 非課税枠を増やして欲しい	567 (34.9%)
5. 資産形成に対する意識が持てるようになった	361 (22.2%)
6. 証券投資は難しい／知識不足を感じる	320 (19.7%)
7. 金融機関に勧められて口座を開設したが、よくわからず利用している	97 (6.0%)
8. マスメディア等の宣伝を見て口座を開設したが、よくわからず利用している	63 (3.9%)
9. その他	18 (1.1%)

Q23. NISA(ニーサ)口座を開設し、まだ運用を始めていない理由について教えてください。(すべて)

表 28 NISA 口座を利用しない理由

全体	572 (選択率)
1. 近いうち投資を始める予定	80 (14.0%)
2. 投資する商品を選んでいる最中	46 (8.0%)
3. 投資予定の商品の購入時期を考えている最中	36 (6.3%)
4. どの商品(銘柄)に投資をすればよいかわからない	117 (20.5%)
5. 投資の方法(始め方)がわからない	97 (17.0%)
6. 投資をする時間がない	76 (13.3%)
7. 投資をする資金がない	180 (31.5%)
8. 金融機関に勧められて口座を開設したが、どうすればよいかわからない	88 (15.4%)
9. マスメディア等の宣伝を見て口座を開設したが、どうすればよいかわからない	31 (5.4%)
10. その他	22 (3.8%)

Q24. 株式や投資信託等の証券投資をしない理由について教えてください。(あてはまるものすべて)

表 29 証券投資をしない理由

全体	1000 (選択率)
1. 投資の方法(購入方法など)がわからない	117 (11.7%)
2. 証券投資に関する知識が無い	207 (20.7%)
3. どの商品(銘柄)に投資をすればよいかわからない	179 (17.9%)
4. 投資する時間がない	82 (8.2%)
5. 投資する資金がない	220 (22.0%)
6. 興味が無い	274 (27.4%)
7. 元本割れが怖い(リスク資産には投資しない)	340 (34.0%)
8. 現在投資はしていないが、興味はある／今後する予定	141 (14.1%)
9. その他	21 (2.1%)

Q25. あなたは、自身の金融知識の水準について、どの程度お持ちとお考えですか。(1つだけ)

表 30 金融知識の水準についての自己評価

全体	3500 (100%)
1. 平均よりもかなり詳しい	99 (2.8%)
2. 平均よりも詳しい	518 (14.8%)
3. 平均的	1239 (35.4%)
4. 平均よりも少し劣る	777 (22.2%)
5. 平均よりもかなり劣る	620 (17.7%)
6. わからない	247 (7.1%)

Q26. あなたは、生活設計(ライフイベントを見据えた将来の収支を含めたライフプランの策定)について、どの程度お考えですか。(1つだけ)

表 31 生活設計に対する意識

全体	3500 (100%)
1. かなり考えている	412 (11.8%)
2. 少しは考えている	1930 (55.1%)
3. ほとんど考えていない	799 (22.8%)
4. 全く考えていない	163 (4.7%)
5. わからない	196 (5.6%)

Q27. あなたは、老後(あるいは将来)の生計について、どの程度不安を感じておられますか。(1つだけ)

表 32 老後(将来)の生計に対する不安の度合い

全体	3500 (100%)
1. かなり不安	768 (21.9%)
2. やや不安	1662 (47.5%)

3. あまり不安はない	819 (23.4%)
4. まったく不安はない	115 (3.3%)
5. わからない	136 (3.9%)

Q28. 老後(あるいは将来)の生計において不安になることがあれば何ですか。(あてはまるものすべて)

表 33 老後(将来)の生計の不安事項

全体	3500 (選択率)
1. 公的年金の受給額	2008 (57.4%)
2. 預貯金の不足や枯渇	1684 (48.1%)
3. 証券投資の価値の下落	652 (18.6%)
4. 持家の価値の下落	330 (9.4%)
5. 持家が希望どおりに売却できるかどうか	256 (7.3%)
6. 医療費や介護費用	1572 (44.9%)
7. 老人ホーム等への入所金	831 (23.7%)
8. 旅行やレジャーなどの余裕資金の確保	617 (17.6%)
9. 病気や認知機能などの衰え	1683 (48.1%)
10. 子どもに十分な財産が残せるかどうか	402 (11.5%)
11. その他	23 (0.7%)
12.	285 (8.1%)

Q29. あなたは、子どもの頃や学生時代、または社会に出てから(職場等で)金融や経済について学んだ経験がありますか。(あてはまるものすべて)

表 34 金融・経済教育の経済

全体	3500 (選択率)
1. 子どもの頃、家族や親族等から学んだことがある	152 (4.3%)
2. 子どもの頃、親族以外の知人等から学んだことがある	59 (1.7%)

3. 小・中学校で学んだことがある	115 (3.3%)
4. 高等学校で学んだことがある	218 (6.2%)
5. 大学・大学院で学んだことがある	448 (12.8%)
6. 社会に出て、職場で学んだことがある	767 (21.9%)
7. 社会に出て、職場以外の場所で学んだことがある	867 (24.8%)
8. いずれにおいても学んだ経験がない	1488 (42.5%)
9. わからない	236 (6.7%)

Q30. 現在、あなたは金融取引をする上で必要な知識をどこから学んでいますか。(あてはまるものすべて)

表 35 金融・経済の知識の入手源

全体	3500 (選択率)
1. 家族や親族(配偶者や両親・祖父母、その他親戚など)	475 (13.6%)
2. 友人や知人	410 (11.7%)
3. 会社・職場(業務や仕事を通じて等)	402 (11.5%)
4. 仕事以外の日常生活	433 (12.4%)
5. 金融機関(銀行や証券会社等)の職員やパンフレット(金融機関の店頭で)	658 (18.8%)
6. 金融機関(銀行や証券会社等)からの郵便物やダイレクトメール等	327 (9.3%)
7. 職場等が用意する金融の専門家による講演会やセミナー等	157 (4.5%)
8. 個人で応募する金融の専門家による講演会やセミナー等	212 (6.1%)
9. 金融の専門家(ファイナンシャル・プランナーなど)に対する個人的な相談	262 (7.5%)
10. 書籍、雑誌などの紙媒体を使った独学	943 (26.9%)
11. インターネットを使った独学	1812 (51.8%)
12. どこからも学んでいない	539 (15.4%)

Q31. 100 万円の現金を 1 年満期の銀行預金（年利子率 2%）に預けて、5 年間、同条件で更新しながら運用したら、5 年後にはいくら受け取れると思いますか。（税率はゼロと考えてください）（1 つだけ）

表 36 金利計算（複利）の理解

全体	3500 (100%)
1. 110 万円よりも多い（正解）	1726 (49.3%)
2. ちょうど 110 万円	556 (15.9%)
3. 110 万円よりも少ない	851 (24.3%)
4. わからない	367 (10.5%)

Q32. インフレ率が年率 5%であり、銀行預金の年利子率が 3%であるとして、1 年間、銀行預金をしておくと、1 年後に預金で買える財やサービスの量は一般的にどうなると思いますか。（1 つだけ）

表 37 インフレ・実質金利の理解

全体	3500 (100%)
1. 減少する（正解）	2202 (62.9%)
2. 変わらない	268 (7.7%)
3. 増加する	233 (6.7%)
4. わからない	797 (22.8%)

Q33. 一般的に、一社の株式を購入する方が、株式投資信託（多くの会社の株式に投資）を購入するよりも、投資収益は安定すると思われますか。（1 つだけ）

表 38 分散投資の理解

全体	3500 (100%)
1. そう思う	296 (8.5%)
2. そう思わない（正解）	2329 (66.5%)
3. わからない	875 (25.0%)

Q34. 金融機関から、年利率 20% (年複利) の金利で、100 万円を借りたとします。途中で全く返済をしないとすると、借金が 2 倍になるのには何年かかるとおもいますか。(1つだけ)

表 39 72 の法則の理解

全体	3500 (100%)
1. 2 年以下	184 (5.3%)
2. 3 年～4 年 (正解)	1645 (47.0%)
3. 5 年～9 年	722 (20.6%)
4. 10 年以上	166 (4.7%)
5. わからない	783 (22.4%)

Q35. 金融機関から年利率 12% (月利率 1%) の金利で 300 万円を借りているとします。毎月 3 万円ずつ返済するとき、この借金をゼロにするには何年かかるとおもいますか。(1つだけ)

表 40 借入返済における利息と元本の理解

全体	3500 (100%)
1. 4 年以下	51 (1.5%)
2. 5 年～9 年	195 (5.6%)
3. 10 年～15 年	906 (25.9%)
4. ゼロにならない (正解)	1460 (41.7%)
5. わからない	888 (25.4%)

Q36. 10 万円の家電を購入する際に、次の(a)と(b)の 2 つの代金の支払い方法が提示されたとします。
 どちらの支払い方法のコストが小さいと思いますか。(1つだけ)
 (a) 月ごとに 1 万円を 12 回支払う
 (b) 年利率 20%で借入れをして 10 万円支払い、1 年後に 12 万円を返済する

表 41 お金の時間価値の理解

全体	3500 (100%)
1. 支払い方法(a)のコストが小さい	1276 (36.5%)
2. 支払い方法(b)のコストが小さい (正解)	545 (15.6%)
3. 両者とも同じ	814 (23.3%)
4. わからない	865 (24.7%)

金融リテラシーの水準(Q29～Q31)とデットリテラシーの水準 (Q34～Q36)

表 42 金融・デットリテラシーの水準

全体	3500 (100%)	3500 (100%)
3 問正解(全問正解)	1115 (31.9%)	199 (5.7%)
2 問正解	1076 (30.7%)	992 (28.3%)
1 問正解	760 (21.7%)	1069 (30.5%)
0 問正解(全問不正解)	549 (15.7%)	1240 (35.4%)
全問「わからない」回答者	257 (7.3%)	559 (16.0%)

参考資料 A スクリーニング調査票

問 1. あなたの現在のご職業について教えてください。(1つだけ)

▼現在、正規の職に就いている

1. 銀行・信用金庫等の金融機関、保険会社、証券会社、およびその子会社・関連会社 (→調査終了)
2. カード会社、貸金業者、保険代理店などの金融関係の会社 (→調査終了)
3. 税理士、会計士、弁護士、中小企業診断士の資格保有者 (→調査終了)
4. FP、コンサルタント、大学教員などで金融に関しての専門知識を必要とする仕事 (→調査終了)
5. 不動産業 (→調査終了)
6. 上記以外の職業・職種 (→次に進む)

▼現在、正規の職に就いていない

7. 学生 (→調査終了)
8. 派遣社員・契約社員、パートタイム・アルバイト (→次に進む)
9. 専業主婦・主夫 (→次に進む)
10. 無職(正規の職に就いたのちに退職した) (→次に進む)
11. 無職(就職活動中やその他) (→調査終了)

問 2. 現在、あなた名義の NISA (ニーサ) 口座をお持ちですか。(1つだけ)

1. 一般 NISA の口座を持っている (→問 3 へ)
2. つみたて NISA の口座を持っている (→問 3 へ)
3. NISA は知っているが、口座は持っていない (→問 4 へ)
4. NISA を知らない／持っているかどうかわからない (→調査終了)

問 3. NISA 口座の利用状況について教えてください。(1つだけ)

1. NISA 口座を使い株式や投資信託等の証券投資をしている
2. NISA 口座を使い証券投資をしていたが、現在は利用していない
3. NISA 口座は開設したが、まだ利用したことがない

問 4. 株式や投資信託等の証券投資の経験について教えてください。(1つだけ)

▼NISA 口座保有者(問 2 選択肢 1or2 が対象)

1. NISA がきっかけで初めて証券投資を始めた
2. NISA がきっかけで証券口座を開設したが、まだ証券投資をしたことがない
3. NISA を始める前から既に証券投資をしていた

▼NISA 口座非保有者(問 2 選択肢 3 が対象)

4. NISA を使わず証券投資をしている(現在、投資をしている)
5. NISA を使わず証券投資をしていた(現在、投資はしていない) (→調査終了)
6. 証券投資をしたことがない

☆ サンプル割付（調査対象者）

① NISA がきっかけで初めて投資を始めた人（1000 人対象）

→問 2 選択肢 1or2 and 問 3 選択肢 1or2 and 問 4 選択肢 1

② NISA がきっかけで口座を開設したが投資を始めていない人（500 人対象）

→問 2 選択肢 1or2 and 問 3 選択肢 3 and 問 4 選択肢 2

③ NISA 以前から投資を始めている人（既投資者）（1000 人対象）

→問 2 選択肢 1or2 and 問 3 選択肢 1or2or3 and 問 4 選択肢 3

→問 2 選択肢 3 and 問 4 選択肢 4

注）既投資者は現在投資している人を対象にしたいため、過去経験者（現在投資はしていない）は対象外とする。

④ NISA を知っているが投資を始めていない人（非投資者）（1000 人対象）

→問 2 選択肢 3 and 問 4 選択肢 6

◆回答矛盾＝排除

→問 2 選択肢 1or2 and 問 3 選択肢 1or2 and 問 4 選択肢 2

→問 2 選択肢 1or2 and 問 3 選択肢 3 and 問 4 選択肢 1or3

◆調査対象外（過去投資経験者 & 現在投資していない）

→問 2 選択肢 3 and 問 4 選択肢 5

参考資料 B 本調査票

問 1. あなたの現在のご職業についてお教えてください。(1つだけ)

1. 農林漁業者
2. 自営業者 (中小企業の経営者を含む)
3. 公務員
4. 大企業の正規従業員 (役員を含む)
5. 中小企業の正規従業員 (役員を含む)
6. 派遣・契約社員、パートタイム・アルバイト
7. 専業主婦・主夫
8. 無職 (リタイアしている)
9. その他 ()

問 2. あなたが最後に卒業された学校についてお教えてください。(1つだけ)

1. 中学校 卒業
2. 高等学校 卒業
3. 専門学校、短期大学 (高専等を含む) 卒業
4. 大学 卒業
5. 大学院修士課程 修了
6. 大学院博士課程 修了
7. その他 ()

問 3. あなたの現在のご家族についてお教えてください。(各質問 1つだけ)

(1) 配偶者

1. いる
2. いない

(2) 子供

1. いない
2. いる (1人)
3. いる (2人)
4. いる (3人以上)

問 5. あなたの昨年の年収についてお教えてください。(1つだけ)

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上～300 万円未満
3. 300 万円以上～500 万円未満
4. 500 万円以上～700 万円未満

5. 700 万円以上～1000 万円未満
6. 1000 万円以上～1500 万円未満
7. 1500 万円以上～2000 万円未満
8. 2000 万円以上
9. わからない

(配偶者がいる人のみ表示) あなたの配偶者の昨年の年収についてお教えてください。(1つだけ)

1. ゼロ (働いていない)
2. 100 万円未満
3. 100 万円以上～300 万円未満
4. 300 万円以上～500 万円未満
5. 500 万円以上～700 万円未満
6. 700 万円以上～1000 万円未満
7. 1000 万円以上～1500 万円未満
8. 1500 万円以上～2000 万円未満
9. 2000 万円以上
10. わからない

問 7. 現在、あなたの世帯でお持ちの金融商品についてお教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 円建ての預貯金
2. 社内預金・財形貯蓄
3. 株式
4. 投資信託
5. 国債
6. 社債
7. 外貨建ての預金
8. 掛け捨ての保険
9. 貯蓄性の保険
10. その他の金融商品
11. 上記、いずれも持っていない (選択肢 1～10・12 と排他的)
12. わからない (選択肢 1～11 と排他的)

問 8. あなたの世帯の金融資産残高についてお教えてください。

(社内預金・財形貯蓄や貯蓄性の保険は含みますが、掛け捨ての生命保険や損害保険は除きます)
(1つだけ)

1. ゼロ
2. 100 万円未満
3. 100 万円以上～300 万円未満

4. 300 万円以上～500 万円未満
5. 500 万円以上～1000 万円未満
6. 1000 万円以上～2000 万円未満
7. 2000 万円以上～3000 万円未満
8. 3000 万円以上～5000 万円未満
9. 5000 万円以上
10. わからない

（問 7 で選択肢 3（株式）または選択肢 4（投資信託）を選んだ人のみ）

問 9. 現在お持ちの株式の大体の時価総額について教えてください。

（株式・投資信託についてそれぞれ 1 つだけ）

1. 50 万円未満
2. 50 万円以上～100 万円未満
3. 100 万円以上～300 万円未満
4. 300 万円以上～500 万円未満
5. 500 万円以上～1000 万円未満
6. 1000 万円以上～2000 万円未満
7. 2000 万円以上～3000 万円未満
8. 3000 万円以上～5000 万円未満
9. 5000 万円以上
10. わからない

（問 7 で選択肢 3（株式）または選択肢 4（投資信託）を選んだ人のみ）

問 11. 金融資産全体に占める株式の時価総額の割合について教えてください。

（株式・投資信託についてそれぞれ 1 つだけ）

1. 1 割程度
2. 2 割程度
3. 3 割程度
4. 4 割程度
5. 5 割程度
6. 6 割程度
7. 7 割程度
8. 8 割程度
9. 9 割程度
10. 金融資産のすべて
11. わからない

問 13. 現在、確定拠出年金を利用していますか。(1つだけ)

1. イデコ (iDeCo : 個人型) を利用している
2. 企業型拠出年金を利用している
3. 確定拠出年金は利用していない
4. 確定拠出年金を知らない／わからない

問 14. 現在、あなたの世帯で借入れ（返済中の負債）があれば教えてください。(いくつでも)

1. 住宅に関わるローン
2. マイカーローン
3. 奨学金や教育に関わるローン
4. フリーローン（使用目的を制限しないローン）
5. 事業に関わるローン
6. 借入れ（返済中の負債）は無い（選択肢 1～5・7 と排他的）
7. わからない（選択肢 1～6 と排他的）

問 15. 現在、あなたが居住しているお住まいについて教えてください。(1つだけ)

（単身赴任の方は、ご家族のお住まいについてお答えください）

1. 持家（一戸建）（→問 16～問 19 へ）
2. 持家（マンション・共同住宅）（→問 16～問 19 へ）
3. 持家（店舗付き住宅）（→問 16～問 19 へ）
4. 賃貸住宅（将来、住宅を購入する予定）（→問 21 へ）
5. 賃貸住宅（住宅を購入する予定は無い）（→問 21 へ）
6. 社宅・寮・官公舎・間借り等（将来、住宅を購入する予定）（→問 21 へ）
7. 社宅・寮・官公舎・間借り等（住宅を購入する予定は無い）（→問 21 へ）
8. その他（→問 21 へ）

（持家のみ対象：問 15 選択肢 1～3）

問 16. 現在居住されているお住まいの取得について教えてください。(1つだけ)

1. 新築住宅を購入
2. 中古住宅を購入
3. 相続・贈与で取得し、建て替えた
4. 相続・贈与で取得した住宅にそのまま居住している
5. その他

（持家のみ対象：問 15 選択肢 1～3）

問 17. 持家を購入（相続・贈与）されてから、何年お住まいですか。(1つだけ)

1. 1 年未満
2. 1 年以上～3 年未満

3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～9年未満
5. 10年以上～20年未満
6. 20年以上～30年未満
7. 30年以上
8. わからない

(持家のみ対象：問 15 選択肢 1～3)

問 18. 大体いくらでお住まい家を購入されましたか。(相続・贈与された方は、その時の大体の時価について教えてください)(1つだけ)

(問 15 の選択肢 1 と 3：戸建ての人は土地と家屋の別々で設問を提示)

1. 500 万円未満
2. 500 万～1,000 万円未満
3. 1,000 万～2,000 万円未満
4. 2,000 万～3,000 万円未満
5. 3,000 万～4,000 万円未満
6. 4,000 万～5,000 万円未満
7. 5,000 万～1 億円未満
8. 1 億～3 億円未満
9. 3 億円以上
10. わからない／忘れた

(持家のみ対象：問 15 選択肢 1～3)

問 19. 現在、居住されているお住まいの価値は、購入(または相続・贈与)された時と比べてどのように変化しているとお考えですか。(1つだけ)

(問 15 の選択肢 1 と 3：戸建ての人は土地と家屋の別々で設問を提示)

1. 価値はほとんどないと思う
2. 価値は4分の1程度になっていると思う
3. 価値は半分程度になっていると思う
4. 価値は4分の3程度になっていると思う
5. 価値はほぼ変わっていないと思う
6. 価値は購入(相続・贈与)時を超えていると思う
7. わからない

(全員が対象)

問 21. あなたの資産について、将来どのようにお考えですか。(配偶者が居られる方は、あなたと配偶者の資産でお考えください)(1つだけ)

1. 子どもに残すつもりである
2. 現在子どもはいないが、将来できるだけ子どもに残すつもり
3. 子ども以外の人(親族や第3者)に譲る(寄付)つもりである
4. 子どもを含め、誰かに残すつもりはないが、余れば残す
5. 自分(または配偶者)で使い、残すつもりはない
6. わからない

問 22. リバースモーゲージについてご存知ですか。(1つだけ)

1. 意味も理解し、知っている
2. 意味はわからないが、聞いたことはある
3. 聞いたことがない／初めて聞いた

問 23 リバース・モーゲージに対する考え方の調査

(ランダムに下記①～④のどれか 1 つの説明文のみ提示されるように設定)

注) 赤字が異なる箇所。回答者に提示する際には赤字は黒字で表示される。

問 23 (サンプル①). リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家を担保として**、老後の生活資金を**借入**する金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(いくつでも)

問 23 (サンプル②). リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(いくつでも)

問 23 (サンプル③). リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。**ちなみに、諸外国では公的年金の不足分を補う形でリバースモーゲージが普及しています。**
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(いくつでも)

問 23 (サンプル④). リバースモーゲージとは、持家に住み続けながら、**持家の資産価値を換金し**、老後の生活資金に**充てる**金融商品です。様々な返済方法がありますが、一般的には月々の利子のみの返済で、契約者の死後、住宅を売却して元本を清算する仕組みです。**ちなみに、米国の研究では、リバース・モーゲージを組み込むことで、資産運用の収益が安定することが示されています。**
あなたは、リバースモーゲージの利用についてどのようにお考えですか。(いくつでも)

(いずれのサンプルにも同じ選択肢を提示)

1. 現在、既に利用している
2. 必要があれば利用してみたい／興味はあり詳細を知りたい
3. 老後の収入源の 1 つとして考えられそう
4. 持家が担保とならないので利用できないだろう
5. 老後に借入れはしたくない
6. 年金や貯蓄で十分なので必要ない／年金や貯蓄で何とかする
7. 住宅は子供に残す予定なので利用するつもりはない
8. 生涯、賃貸の予定 (家は所有しない)
9. 商品の内容がよくわからない／仕組みが理解できない

(NISA 口座保有者のみ対象：スクリーニング調査問 2 の 1or2)

問 26. NISA（ニーサ）の口座を開設したのはいつですか。（1 つだけ）

1. 2014 年
2. 2015 年
3. 2016 年
4. 2017 年
5. 2018 年
6. 2019 年
7. 2020 年
8. わからない／忘れた

(NISA 口座保有者のみ対象：スクリーニング調査問 2 の 1or2)

問 27. 現在保有の NISA（ニーサ）の口座をどこで開設されましたか。（1 つだけ）

1. 都市銀行、信託銀行
2. 地方銀行、第二地方銀行
3. ゆうちょ銀行
4. ネット銀行
5. その他の銀行
6. 信用金庫、信用組合、投資会社、農協、労働金庫
7. 大手の証券会社
8. ネット証券
9. その他の証券会社

(NISA 口座保有者のみ対象：スクリーニング調査問 2 の 1or2)

問 28. NISA（ニーサ）を利用し、どのようにお感じですか。（いくつでも）

1. 売却益や配当が非課税になってうれしい
2. 損が出て口座の開設を後悔している
3. 期間を限定せず恒久化して欲しい／期間が限定的で使いづらい
4. 非課税枠を増やして欲しい
5. 資産形成に対する意識が持てるようになった
6. 証券投資は難しい／知識不足を感じる
7. 金融機関に勧められて口座を開設したが、よくわからず利用している
8. マスメディア等の宣伝を見て口座を開設したが、よくわからず利用している
9. その他

(NISA 口座保有者かつ休眠口座が対象：サンプル割付②)

問 29. NISA（ニーサ）口座を開設し、まだ運用を始めていない理由について教えてください。

（あてはまるもの全て）

1. 近いうち投資を始める予定
2. 投資する商品を選んでいる最中
3. 投資予定の商品の購入時期を考えている最中
4. どの商品（銘柄）に投資をすればよいかわからない
5. 投資の方法（始め方）がわからない
6. 投資をする時間がない
7. 投資をする資金がない
8. 金融機関に勧められて口座を開設したが、どうすればよいかわからない
9. マスメディア等の宣伝を見て口座を開設したが、どうすればよいかわからない
10. その他

(NISA 認知＋非投資者：サンプル割付④)

問 30. 株式や投資信託等の証券投資をしない理由について教えてください。（あてはまるもの全て）

1. 投資の方法（購入方法など）がわからない
2. 証券投資に関する知識が無い
3. どの商品（銘柄）に投資をすればよいかわからない
4. 投資する時間がない
5. 投資する資金がない
6. 興味が無い
7. 元本割れが怖い（リスク資産には投資しない）
8. その他

問 31 あなたは、自身の金融知識の水準について、どの程度お持ちとお考えですか。（1つだけ）

1. 平均よりもかなり詳しい
2. 平均よりも少し詳しい
3. 平均的
4. 平均よりも少し劣る
5. 平均よりもかなり劣る
6. わからない

問 32 あなたは、生活設計（ライフイベントを見据えた将来の収支を含めたライフプランの策定）について、どの程度お考えですか。（1つだけ）

1. かなり考えている
2. 少しは考えている。
3. ほとんど考えていない
4. 全く考えていない
5. わからない

問 33 あなたは、老後（あるいは将来）の生計について、どの程度不安を感じておられますか。（1つだけ）

1. かなり不安
2. やや不安
3. あまり不安はない
4. まったく不安はない
5. わからない

問 34 老後（あるいは将来）の生計において不安になることがあれば何ですか。（いくつでも）

1. 公的年金の受給額
2. 預貯金の不足や枯渇
3. 証券投資の価値の下落
4. 持家の価値の下落
5. 持家が希望どおりに売却できるかどうか
6. 医療費や介護費用
7. 老人ホーム等への入所金
8. 旅行やレジャーなどの余裕資金の確保
9. 病気や認知機能などの衰え
10. 子どもに十分な財産が残せるかどうか
11. その他

問 35 あなたは、子どもの頃や学生時代、または社会に出てから（職場等で）金融や経済について学んだ経験がありますか。（いくつでも）

1. 子どもの頃、家族や親族等から学んだことがある
2. 子どもの頃、親族以外の知人等から学んだことがある
3. 小・中学校で学んだことがある
4. 高等学校で学んだことがある
5. 大学・大学院で学んだことがある
6. 社会に出て、職場で学んだことがある
7. 社会に出て、職場以外の場所で学んだことがある
8. いずれにおいても学んだ経験がない（1～7・9 とは排他的）
9. わからない（1～8 とは排他的）

問 36 現在、あなたは金融取引をする上で必要な知識をどこから学んでいますか。（いくつでも）

1. 家族や親族（配偶者や両親・祖父母、その他親戚など）
2. 友人や知人
3. 会社・職場（業務や仕事を通じて等）
4. 仕事以外の日常生活
5. 金融機関（銀行や証券会社等）の職員やパンフレット（金融機関の店頭で）
6. 金融機関（銀行や証券会社等）からの郵便物やダイレクトメール等
7. 職場等が用意する金融の専門家による講演会やセミナー等
8. 個人で応募する金融の専門家による講演会やセミナー等
9. 金融の専門家（ファイナンシャル・プランナーなど）に対する個人的な相談
10. 書籍、雑誌などの紙媒体を使った独学
11. インターネットを使った独学
12. どこからも学んでいない（1～11 とは排他的）

問 37 100 万円の現金を 1 年満期の銀行預金（年利子率 2%）に預け、5 年間、同条件で更新しながら運用した場合、5 年後にはいくら受け取れると思いますか。（税率はゼロと考えてください）。

（1 つだけ）

1. 110 万円よりも多い
2. ちょうど 110 万円
3. 110 万円よりも少ない
4. わからない

問 38 インフレ率が年率 5%であり、銀行預金の年利子率が 3%であるとします。1 年間、銀行預金をしておくと、1 年後に預金で買える財やサービスの量は一般的にどうなると思いますか。

（1 つだけ）

1. 減少する
2. 変わらない
3. 増加する
4. わからない

問 39 一般的に、1 社の株式を購入する方が、株式投資信託（多くの企業の株式に投資）を購入するよりも、投資収益は安定すると思われますか。（1 つだけ）

1. そう思う
2. そう思わない
3. わからない

問 40 金融機関から、年利子率 20%（年複利）の金利で、100 万円を借りたとします。途中で全く返済をしないとすると、借金が 2 倍になるのに何年かかると思いますか。（1 つだけ）

1. 2 年以下
2. 3 年～4 年
3. 5 年～9 年
4. 10 年以上
5. わからない

問 41 金融機関から年利子率 12%（月利子率 1%）の金利で 300 万円を借りているとします。毎月 3 万円ずつ返済するとき、この借金をゼロにするには何年かかると思いますか。（1 つだけ）

1. 4 年以内
2. 5～9 年
3. 10～15 年
4. ゼロにならない
5. わからない

問 42 10 万円の家電を購入する際に、次の(a)と(b)の2つの代金の支払い方法が提示されたとします。

どちらの支払い方法のコストが小さいと思いますか。(1つだけ)

(a) 月ごとに1万円を12回支払う

(b) 年利率20%で借入れをして、1年後に12万円を支払う

1. 支払い方法(a)のコストが小さい
2. 支払い方法(b)のコストが小さい
3. 両者とも同じ
4. わからない